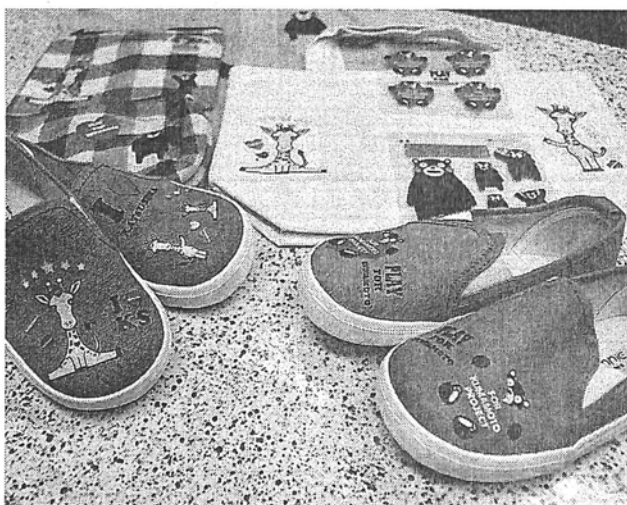


アイロンいらすの転写シール

布地や化学繊維、皮革に活用



扶桑

（株）扶桑 東京都葛飾区立石、富田暁社長、☎03・3691・6490）はこのほど、アイロンを用いずにごするだけで布地や化学繊維、皮革に貼れる転写シール「NDシール」を開発した。

同商品は、凹凸のある帆布や起毛したリネンにも転写できるシール。熱による収縮を嫌う素材にも貼付できるほか、耐水性や伸縮性にも優れ、転写した後に洗濯しても容易に剥がれることがない。

またNDシールは、ラメをはじめ蓄光、香りといった意匠や機能を加えることも可能。従来の転写シールには珍しい高付加価値化を特徴としている。

貼りは、まず剥離紙から剥がし取って加工したい被着体にセット。次に、フィルムの上からNDシールを爪やコインで強くこする。その後フィルムを剥がし、あて布で絵柄を押さえ定着させたら、絵柄をもみこんで対象物になじませる。

主な需要は、ドラマ、アニメとのコラボレーションやイベントのノベルティなど。



富田暁社長



富田成昭営業部主任

富田社長と営業部の富田成昭主任との一問一答は以下の通り。

—— 苦労した点は
社長 シールを転写した布地や衣服を洗濯してみると剥がれてしまうことがあった。結局、同時進行していたストックキング用の開発品が布地にマッチするなど、思わぬ拾い物をして商

品化を果たした。
—— 今後について
富田 困ったときに最後に頼られる存在であり続けたい。難しい要望を受けた同業者からも、製造依頼を受けることが頻繁にある。お客様の立場に立って要望をただ聞くだけではなく、イメージ通りのモノが作れるのかどうか、転写シールのスペシャリストとしての確かなアドバイスしていく。

社長 特殊なシール需要
拡大に寄与し、市場の活性化に繋がればと思っている。好きなものに好きな絵柄で好きな配置で簡単に貼れる。世の中に一つしかないオリジナルアイテムは画期的な商品。新しい楽しみを生むアイテムをもっと広めたい。そのためにも、展示会などを通じて多くの人に製品を知ってもらわなければならない。少しでも社会に貢献できるような仕事をしていきたい。その気持ちは持ち続けていく。

—— 開発の経緯は
社長 あるお客さんから布にシールが貼れないかという相談があった。理想は「アイロンが不要であること」。子どもだけでは、火傷の恐れがあるので難しい。貼るときは簡単で、飽きたら剥がしたいという要求もあった。

富田 同時期にシールで「NDシール」を転写したトートバック、スニーカー。高付加価値な加工を施すことができる。